

## シマフクロウの生態 フクロウ類の大きさ

シマフクロウ保護・研究家 山本純郎

シマフクロウの大きさはすでにご存じだと思いますが、世界最大級のフクロウです（全長約70cm）。ほぼ同大でワシミズクがいますが、多くの亜種に分かれています。その中で最大はシベリアワシミズクです。それでも翼長<sup>★1</sup>が52cm程で、これ以上に大きいのはシマフクロウだけです。特に沿海地方のマンシュウシマフクロウ（タイリクシマフクロウ）は56cmというものが記録されています。北海道産は最大で53.5cmです。島嶼（北海道）にいる種は大陸にいる種より小さくなります。これは地理的隔離の一つで、一般には島嶼にいる捕食者は大陸にいる捕食者より小さくなり、逆に被捕食者は大きくなると言われています。またこの隔離によって生殖も交わらなくなり、何十万年も続けば亜種から種として独立していくようです。

体重に関してもワシミズクとほぼ同じですが、多くの検体、測定時期、雌雄を比較しないと断定は出来ません。それに動物も人と同じで大小様々で、絶対という言葉は使用できません。全長<sup>★2</sup>だけで比較するとカラフトフクロウは80cmという個体がありますが、体重はシマフクロウの半分しかありません。このように

大きさのことを書いてみると、小学校の頃を思い出します。その大きさを絵にして、なんと大きいフクロウだろうと感心しつつ、いつか見てみたいという欲望、そして憧れを持ったものでした。その当時はまだフクロウとアオバズクしか見ていませんでした。

その他、日本で最小のフクロウはコノハズクです。全長が20cm前後で、この種は夏季だけですが、北海道にやってきて繁殖しています。コノハズクより一回り大きいのがオオコノハズク、キンメフクロウその次がアオバズク、トラフズク、コミミズク、フクロウ、シロフクロウ、ワシミズク、そしてシマフクロウの順です。3番目に大きいシロフクロウを除き北海道で繁殖記録があります。写真1は半世紀以上前のものですが、ワシミズク（韓国産）の若鳥とコノハズクです。偶然ワシミズクのケージに入ってしまったのですが、どちらも無反応でした。

- ★1 翼長とは人という手首から風切羽の先端までの長さ
- ★2 全長は嘴の先端から尾羽の先端までの長さ。フクロウ類の場合は頭頂から測定することもあります。タンチョウのように脚の長い種は脚も含め体高で表すことがあります。



1 ワシミズク（若鳥 換羽中）とコノハズク



2 カラフトフクロウ



3 最小部類のスズメフクロウ 全長は16cm



事務局便り

●当会は、2013年9月の設立以来、今年で10周年を迎えることとなります。これまで当会の活動を継続することができたのも、偏に皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。依然として新型コロナウイルス感染症拡大は終息の見通しがつかない中、講演会などの記念行事の開催につきましては、状況を慎重に見極めながら、開催時期等を検討させていただきますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### ●賛助会員・寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆様の賛助会員ご入会とご寄付を募集しています。

当会のホームページから手続きができるようになっておりますので、ぜひご覧ください。

【認定NPO法人北海道シマフクロウの会 事務局】（担当：米谷・久保木）

〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階（㈱北海道二十一世紀総合研究所内）TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL：<https://hokkaido-shimafukurou.org/> E-mail：[info@hokkaido-shimafukurou.org](mailto:info@hokkaido-shimafukurou.org)

# 北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌



第33号

分散時期が迫る若鳥2羽  
写真：山本純郎





## 第4回シマフクロウ保護活動支援金の贈呈先が決定

認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

令和4年12月20日に今年度第2回理事会が開催されました。その議題の中で、本年度の事業計画の柱であるシマフクロウの保護活動に携わっておられる方々に対する支援について審議を行い、令和5年2月を目途に次のとおり支援金の贈呈を行うことを決定しました。この原資は昨年9月5日から10月25日の期間、多くの皆様からご支援を賜りました第4回クラウドファンディングによる寄付金でございます。あらためましてご支援に対し心から感謝申し上げます。

### 支援金贈呈対象先

山本 純郎氏（根室市）：継続支援  
早矢仕 有子氏（札幌市）：継続支援

竹中 健氏（札幌市）：継続支援  
齊藤 慶輔氏（釧路市）：継続支援  
田村 康教氏（釧路町）：継続支援  
高田 令子氏（根室市）：継続支援  
札幌市円山動物園（札幌市）：継続支援  
釧路市動物園（釧路市）：継続支援  
旭川市旭山動物園（旭川市）：継続支援  
公益財団法人日本野鳥の会：継続支援  
以上 個人6名 団体4 計10先

支援金額は、諸事情を勘案のうえ、10万円～35万円の範囲になる予定です。また、保護活動支援金贈呈先の皆様の日頃の活動やご意見などにつきましては今後、北海道シマフクロウ通信紙面等でお知らせする予定です。

### 第4回クラウドファンディングについてのご報告・御礼

シマフクロウの保護活動に携わっておられる方々の現場での活動（給餌や巣箱設置等）を財政面から支援することを目的として、昨年引き続き、北海道新聞社のクラウドファンディング事業「find H」のご協力の下、4回目のクラウドファンディング方式によるご寄付の募集をさせていただきましたところ、募集期間の9月5日から10月25日の約2ヶ月間で、おかげさまで目標額を大きく上回るご支援を賜りました。特に田中良治様、北海道コンサドーレ札幌のサポーターの皆様、また東北・北海道小児科医会連合会のご関係の皆様からは多大なるご支援をいただきました。改めまして、お寄せいただいたご支援に深く感謝申し上げます。

### 第4回クラウドファンディング実績

目標額 700,000円  
ご支援額 1,800,000円  
(ご支援延べ97口 達成率257%)

### 国分北海道株式会社様より道産酒「島臈」シリーズの売上金の一部をご寄付いただきました

昨年に引き続き、食品卸道内大手の国分北海道株式会社様から、同社が販売する道産酒「島臈」シリーズ売上金からのご寄付をいただくこととなり、12月26日(月)に贈呈式が行われました。当日は、国分北海道株式会社 諏訪社長様より寄付金目録を頂戴し、当会の村田理事長から、シマフクロウ保護活動の支援のため大切にに使わせていただく旨のお礼の言葉をお伝えしました。このご寄付については、これからも続けてお取組みいただけることになっています。

### 対象商品



- 島臈 十勝ブランデー 熟成30年 (1本当たり寄付金200円)
- 島臈 十勝ブランデー 原酒 (1本当たり寄付金200円)
- 島臈 十勝ブランデー 原酒33年熟成 (1本当たり寄付金200円)
- 島臈 甘熟 SWEET 21年 (1本当たり寄付金100円)
- 島臈 甘熟 SWEET WHITE (1本当たり寄付金100円)
- 島臈 甘熟 SWEET TAWNY 21年 (1本当たり寄付金100円)

国分北海道株式会社では、「島臈」シリーズとして、上記の商品を発売され、平成31年から継続して、その売上金の一部を当会へご寄付いただいております。



【講演要旨】

## 村田理事長が『第40回東北・北海道小児科医会連合会総会』にて講演

日時：令和4年9月24日(土) 16時30分～17時30分 場所：札幌グランドホテル 3階「GINSEN」



### 演題「北の大地に翔べ シマフクロウ」

シマフクロウは自然豊かな北海道のシンボルだが、今、道内にのみ165羽程度しか生息していない。この世界最大クラスの大きさのシマフクロウが絶滅するようでは、他の野生動物も生存できなくなるだろうし、私ども人間の生活基盤そして本道の自然環境も危うくなっていくとの危機感から、北海道シマフクロウの会を設立。

#### 1 シマフクロウとは

国の天然記念物、「【鳥類】環境省レッドリスト2020」の絶滅危惧IA類。

日本最大のフクロウ（猛禽類で主に川魚を食べ、啼き声は1km以上届く）。

道内の主に4つのエリア（知床、根室・釧路、十勝、日高）に生息。

2022年の環境庁発表では道内でのつがいが73組（釧路16、根室26、オホーツク13、十勝12、日高4、上川2組）。1882年に函館で捕捉。しかし、1970年代には70羽ほどに減少。

明治時代には北海道に広く分布（当時の森林状況などから数千羽か）。

#### 2 北海道シマフクロウの会とは

2013年（平成25年）9月 任意団体として、呼びかけ人、横内龍三、横山

清、村田正敏の3人、265人の会員で発足。

2019年2月にNPO法人、2020年8月に認定NPO法人。

#### 3 活動

機関誌「北海道シマフクロウ通信」の発行、保護活動に携わる方々への支援（クラウドファンディングの活用）。第3回は6個人・1団体に計150万円を支援。

広報活動「絵本『シマフクロウ ちびのぼうけん』、エッセイ集「羽ばたけ！シマフクロウ」発行

#### 4 他の機関、団体との連携

環境省北海道地方環境事務所、北海道森林管理局など

釧路市動物園、札幌市円山動物園、旭川市旭山動物園、公益財団法人日本野鳥の会など

●シマフクロウを見ることができる動物園……釧路市動物園、旭川市旭山動物園、札幌市円山動物園、長野市茶臼山動物園

#### 5 企業等からのご支援

●国分北海道株式会社様  
ブランデーとワイン、梅酒の「島臈」シリーズの売上の一部をご寄付

●サントリービバレッジソリューション株式会社様

●ポッカサッポロ北海道株式会社様  
自販機の売上の一部をご寄付

●タナカメディカルグループ様  
毎年、継続的にご寄付

#### 6 SDGsへの思い

ISOのサステイナブルの定義「現在の世代だけではなく、将来世代も一人ひとり豊かに暮らし続けること」

以上

事務局より

